



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4552 URL http://www.jcrpharm.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)芦田 信
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)葉口 明宏 (TEL)0797(32)8591
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	13,055	6.0	1,928	62.5	2,123	54.3	1,537	67.0
27年3月期第3四半期	12,316	5.8	1,186	△13.9	1,376	△8.0	920	△20.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,541百万円 (48.0%) 27年3月期第3四半期 1,041百万円 (△23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	48.21	47.94
27年3月期第3四半期	28.94	28.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	35,913	27,270	75.3
27年3月期	34,086	26,264	76.6

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 27,027百万円 27年3月期 26,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.50	—	10.00	18.50
28年3月期	—	10.00	—		
28年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	5.0	2,270	12.7	2,550	9.0	1,770	5.2	55.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	32,421,577株	27年3月期	32,421,577株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	521,102株	27年3月期	537,694株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	31,893,599株	27年3月期3Q	31,822,880株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におきましては、まず、本2015年度を起点とする5ヵ年中期経営計画を策定し、その実現に向けた取り組みをスタートさせました。施策の第1弾として、主力製品であるヒト成長ホルモン製剤グロウジェクト®および腎性貧血治療薬エポエチンアルファBS注の販売促進強化、ならびに自社技術を生かした事業開発・ライセンス機能強化を目的とした組織改革を実施いたしました。

また、将来の事業分野拡大に大きく寄与してくる可能性のある出来事も続きました。その1つは、昨年9月18日付で、ヒト間葉系幹細胞(MSC)を利用した日本初の他家由来の再生医療等製品テムセル®HS注(開発番号:JR-031)について、「造血幹細胞移植後の急性移植片対宿主病(急性GVHD)」を適応症として製造販売承認を取得したことです。本製品は、生細胞を利用した製品であるという特性から品質保持のため超低温下での流通が必要となります。これに対応するため、株式会社メディパルホールディングスと共同で液体窒素を用いた超低温輸送システムを開発し、緊急時にも速やかに臨床現場に安定した品質の本製品をお届けできる体制を構築しており、患者様のもとに1日でも早く本製品をお届けできる様に準備を進めております。

さらに、当社独自の血液脳関門通過技術J-Brain Cargo®を自社利用のみならず他社へのライセンスも目指して、昨年6月には大日本住友製薬株式会社と、昨年7月にはエーザイ株式会社との間でそれぞれフィージビリティスタディ契約を締結いたしました。今後も本技術を含めた自社技術のライセンスビジネス強化を図ってまいります。

研究開発面におきましては、昨年7月にグロウジェクト®の新たな剤型として液状製剤の製造販売承認申請を行いました。また、希少疾病であるファブリー病の治療酵素製剤(開発番号:JR-051)の臨床試験において先行バイオ医薬品との生物学的同源性および安全性を確認したほか、長期持続型の腎性貧血治療薬のバイオ後続品(開発番号:JR-131)の臨床試験に着手いたしました。このほか、J-Brain Cargo®を利用したハンター症候群治療酵素製剤(開発番号:JR-141)、持続型成長ホルモン製剤(開発番号:JR-142)等様々なテーマの研究開発を進捗させました。

主力製品のグロウジェクト®は、販売促進強化の効果もあり、前期に引き続き順調に売上が伸長して76億22百万円(前年同期比4億37百万円増)となりました。また、エポエチンアルファBS注や尿由来製品も順調に推移したことなどにより、医薬品事業の売上高は127億58百万円(前年同期比7億68百万円増)となり、医療用・研究用機器事業の売上高2億96百万円(前年同期比29百万円減)を合わせた当社グループの売上高は130億55百万円(前年同期比7億38百万円増)となりました。

利益面におきましては、売上高の増収効果に加えて販売費及び一般管理費の減少(前年同期比3億77百万円減の65億25百万円)などにより、営業利益は19億28百万円(前年同期比7億41百万円増)、経常利益は21億23百万円(前年同期比7億46百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億37百万円(前年同期比6億16百万円増)となりました。

なお、当社はお陰様で昨年9月13日をもちまして、創立40周年を迎えることが出来ました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。今後も独自のバイオ技術、細胞治療・再生医療技術によるグローバルで存在感のある研究開発型企業として、皆様のご期待にお応えすべく、全社一丸となって更なる企業価値の向上を目指す所存でございますので、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は359億13百万円（前連結会計年度末比18億27百万円増）、負債合計は86億42百万円（前連結会計年度末比8億21百万円増）、純資産合計は272億70百万円（前連結会計年度末比10億5百万円増）となりました。

流動資産は、有価証券が減少した一方で現金及び預金およびたな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ14億69百万円増加して186億60百万円となりました。固定資産につきましては、投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ3億57百万円増加して172億52百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が減少した一方で買掛金および未払法人税等が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ9億36百万円増加して60億71百万円となりました。固定負債は、長期借入金が増加した一方で、リース債務が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億14百万円減少して25億71百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いがあった一方、四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ10億5百万円増加して272億70百万円となりました。

これらの結果、第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.3ポイント減少して75.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想に関しましては、平成27年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。通期の業績予想は次のとおりであります。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	5.0	2,270	12.7	2,550	9.0	1,770	5.2	55.60

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,137,461	1,390,107
受取手形及び売掛金	5,203,535	5,223,529
有価証券	3,735,997	3,555,950
商品及び製品	1,522,844	1,685,574
仕掛品	1,163,508	1,276,903
原材料及び貯蔵品	3,715,196	4,764,839
その他	712,494	763,569
貸倒引当金	△12	△3
流動資産合計	17,191,026	18,660,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,611,447	4,610,400
土地	3,882,338	3,882,338
建設仮勘定	135,011	175,826
その他(純額)	2,983,103	2,787,722
有形固定資産合計	11,611,900	11,456,288
無形固定資産	75,242	84,098
投資その他の資産		
投資有価証券	3,891,136	4,428,552
その他	1,339,665	1,306,777
貸倒引当金	△22,915	△22,915
投資その他の資産合計	5,207,886	5,712,414
固定資産合計	16,895,030	17,252,801
資産合計	34,086,056	35,913,272
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	534,008	1,268,752
短期借入金	1,949,860	1,685,260
未払法人税等	76,894	502,004
賞与引当金	389,552	217,473
役員賞与引当金	75,200	56,265
その他	2,109,424	2,341,694
流動負債合計	5,134,939	6,071,450
固定負債		
長期借入金	716,680	796,885
債務保証損失引当金	374,920	362,705
退職給付に係る負債	457,021	504,944
その他	1,137,603	906,776
固定負債合計	2,686,225	2,571,310
負債合計	7,821,164	8,642,761

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061,866	9,061,866
資本剰余金	10,949,502	10,961,049
利益剰余金	5,780,476	6,678,342
自己株式	△571,078	△557,889
株主資本合計	25,220,767	26,143,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	732,890	729,405
繰延ヘッジ損益	11,077	-
為替換算調整勘定	235,928	224,948
退職給付に係る調整累計額	△99,363	△70,309
その他の包括利益累計額合計	880,533	884,045
新株予約権	162,956	242,323
非支配株主持分	634	774
純資産合計	26,264,892	27,270,511
負債純資産合計	34,086,056	35,913,272

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,316,327	13,055,270
売上原価	4,226,810	4,600,996
売上総利益	8,089,516	8,454,274
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	6,903,078	6,525,985
営業利益	1,186,437	1,928,288
営業外収益		
受取利息	25,455	21,275
受取配当金	24,233	23,307
為替差益	2,139	-
有価証券償還益	48,480	79,453
補助金収入	60,354	98,224
貸倒引当金戻入額	48,952	9
その他	38,474	22,432
営業外収益合計	248,090	244,702
営業外費用		
支払利息	29,069	24,919
為替差損	-	6,096
保険解約損	-	8,567
その他	29,300	10,336
営業外費用合計	58,370	49,919
経常利益	1,376,158	2,123,071
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	-	12,215
特別利益合計	-	12,215
特別損失		
固定資産処分損	3,186	147
特別損失合計	3,186	147
税金等調整前四半期純利益	1,372,971	2,135,138
法人税、住民税及び事業税	84,370	601,907
法人税等調整額	367,670	△4,578
法人税等合計	452,041	597,329
四半期純利益	920,929	1,537,809
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	139
親会社株主に帰属する四半期純利益	920,827	1,537,669

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	920,929	1,537,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,622	△3,485
繰延ヘッジ損益	8,972	△11,077
為替換算調整勘定	11,497	△10,979
退職給付に係る調整額	25,391	29,054
その他の包括利益合計	120,484	3,512
四半期包括利益	1,041,413	1,541,321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,041,312	1,541,182
非支配株主に係る四半期包括利益	101	139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。